

## 芦別消防団員を募集しています



芦別消防団では、各地域で活躍する消防団員を募集しています。

年齢満18歳以上で、本市に居住されている心身ともに健康なかたであれば、性別を問わず入団できます（高等学校在学中のかたは入団できません）。

消防団員は、「自らの地域は自らで守る」という郷土愛の精神に基づき、地域の防災リ

ダーとして幅広い活動を行っています。消火活動はもとより、地震、風水害、行方不明者の捜索等、さまざまな災害に出動し活躍しています。

地域住民の安全・安心のために重要な役割を担っている消防団に興味・関心のあるかたは、芦別消防署までお問い合わせください。

●詳細 芦別消防署庶務係 ☎22-3106

## ★市長だより★

54



オミクロン株を中心とした新型コロナウイルスの国内、道内での感染拡大が相次ぐ中、市民皆様には、日々感染防止対策にご協力をいただき感謝申し上げます。

本市では先月、昨年9月以来4か月ぶりとなる新規感染者の発生が確認されことを受け、皆様のご協力のもと同12日から31日まで、「人の流れを抑制し、人との接触を軽減する」措置の徹底を図るため、市公共施設の原則休館、市行事等の延期や中止を行ったところでありました。

今般、北海道の道内全域を対象にまん延防止等重点措置が講じられたことから、その期間における市の対応につきましては、新型コロナウイルス感染症対策本部会議で協議・決定してまいりますが、市民皆様の命と暮らしを守るためにも、基本的な感染予防対策励行へのご協力と、感染の可能性は誰にでもありますことから、差別や誹謗・中傷は絶対に避けていただき、1人1人が冷静に思いやりをもって行動いただくよう、改めてお願いいたします。

また、3回目の追加接種に向け、市内の医療機関や関係団体のご協力をいただきながら2月16日から、初回接種と同様に、集団接種と個別接種に分け、それぞれ順次実施してまいりますので、事前に接種券と一体化した予診票（クーポン券）を発送いたしますので、所定の手続きに従ってご準備くださいますようお願いいたします。

たします。

先月、本市は、記録的な大雪に見舞われました。

特に12日から14日の72時間で95cmの降雪があり、14日午後10時には、積雪が130cmに達し、これまで最高であった平成11年3月6日の115cmを上回り、記録更新がされました。

幸いに人的な被害もなく、市公共施設での被害の発生はありませんでしたが、市民生活に大きな影響が生じ、市内各地で停電が発生するほか、公共交通機関では、JR根室線の一時運休、各バス路線において運行に大幅な遅れが生じました。

市道においては、市内各所で道幅が狭くなり、車両の交差のほか、救急搬送への対応やごみ収集作業等の遅れも生じたところでありましたが、除排雪資機材や人員など市内事業者のご協力をいただくことで、可能な限りの除排雪作業を行ってまいりました。



1月9日、消防初出動式に出席し市民の皆さんの安全な暮らしを守るために、防災の誓いを新たにしました。

この間、市民皆様には大変ご不便やご心配をおかけいたしました。引き続き、今後の降雪状況にも注視しながら、必要な対策に意を用いつつ、特に、屋根からの降雪や雪下ろしの際の転落事故等の危険も否めませんので、高齢者世帯、とりわけ、独居世帯への安否確認を含めた見守りについて、町内会、社会福祉協議会等関係団体と連携を密接にして、対応の強化に努めてまいります。

この度、札幌大学から、同大学の「地域創生演習・市民自治」の講義に講師依頼があり、副学長で、地域共創学群教授の小山茂先生が、長年本市の地域公共交通会議の副会長としてご指導いただいたことが、現在、市職員に同大学出身者が5人おられるなどのご縁もあって、お引き受けすることとし、先月20日に、主題「芦別市のまちづくりの挑戦」、副題「みんなで築く、豊かで住み良い、人と文化の輝くまち」と題して、約90分にわたり、現下のコロナ禍からリモートにより講演をさせていただきます。

受講いただいた学生の皆さんに少しでも芦別を知っていただき、興味を持っていただけるよう、芦別のPRに終始した感否めませんが、本市のまちづくりの挑戦が「市民自治」の参考になれば幸いです。

2月に入り、寒さも一段と厳しくなっておりますので、市民皆様にはくれぐれもご自愛いただき、健康でお過ごしください。

令和4年1月24日記

芦別市長 荻原 貢